

横浜市インフルエンザ流行情報 2号

横浜市健康福祉局健康安全課
衛生研究所

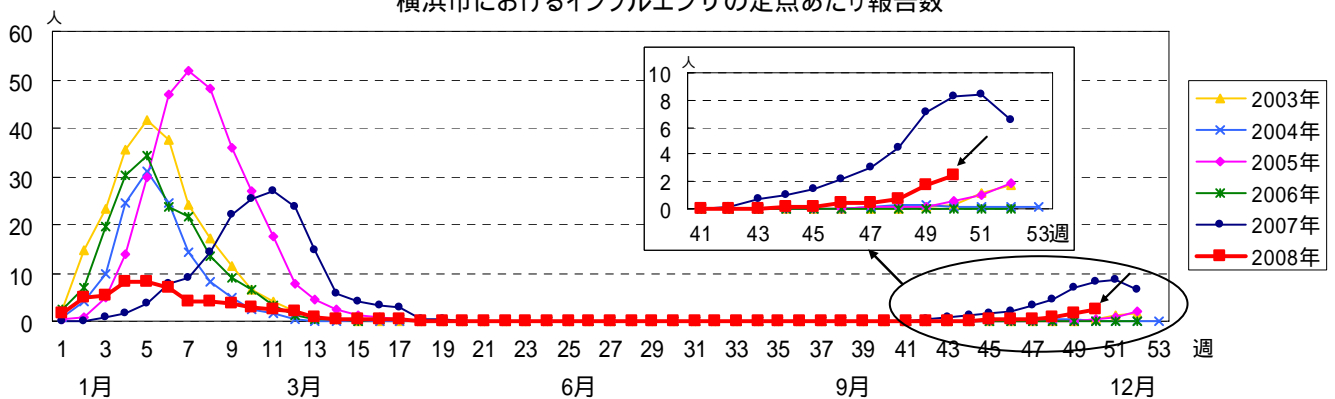
1 今シーズンの感染症発生動向調査におけるインフルエンザの患者発生状況

(1) 患者定点医療機関からの患者報告状況

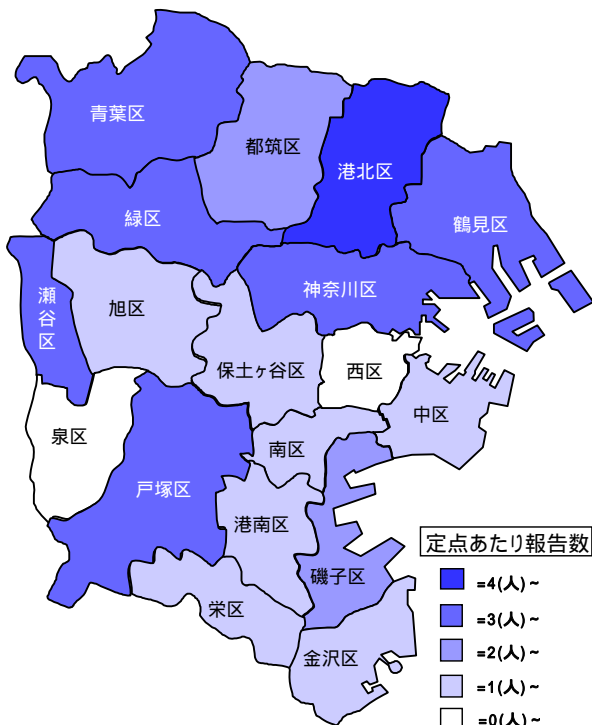
横浜市では、過去6年間で最も早かった昨シーズンに次いで早く、第49週に流行の目やすとなる「1.0」を超え、第50週の定点あたり報告数は2.48(前週の1.4倍)と、増加しています。また、第50週に西区から初発の報告があり、18区すべての区で報告がありました。区別では、港北(6.22)、神奈川(3.43)、戸塚(3.40)、青葉(3.36)、瀬谷(3.29)の順で多く報告されており、西、泉を除く16区で流行期に入っています。早期のワクチン接種が望まれます。

また、横浜市内の患者定点医療機関のご協力で報告いただいた迅速診断用検査キットによる型別の判定(患者発生報告書に検査結果を記載いただいたものについての集計)をグラフに示しました。第50週では、A型215件、B型69件、AB型共に陽性4件の報告がありました。

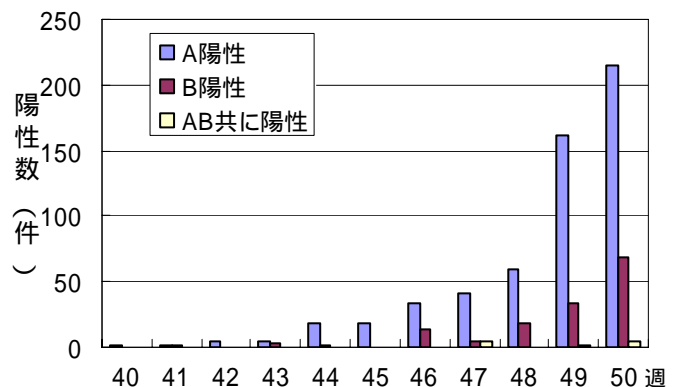
横浜市におけるインフルエンザの定点あたり報告数



第50週 区別定点あたり報告数



横浜市内の患者定点医療機関における迅速診断用検査キットによる型別の判定



インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、横浜市内では小児科定点88か所を含む145か所(全国約5000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」と指定しています。

全国でも、インフルエンザ報告数は連続して増加し、第49週に流行の目やすとなる「1.0」を超え、第50週の定点あたり報告数は2.79と、さらに増加しています。都道府県別では、北海道(8.45)、福井県(6.75)、山口県(6.08)、山梨県(5.83)、兵庫県(5.54)の順で多く報告されており、36都道府県で流行期に入っています。

定点あたり 患者報告数	第46週 (11/10-11/16)	第47週 (11/17-11/23)	第48週 (11/24-11/30)	第49週 (12/1-12/7)	第50週 (12/8-12/14)
全国	0.32	0.56	0.83	1.62	2.79
東京都	0.27	0.53	0.65	1.67	2.40
神奈川県(全県)	0.29	0.39	0.48	1.39	2.10
横浜市	0.43	0.45	0.70	1.74	2.48
川崎市	0.07	0.13	0.20	1.72	1.91
県域(横浜・川崎を除く)	0.25	0.43	0.39	0.94	1.83

(2) 今シーズンの学校等における集団かぜについて

10月20日、市内の幼稚園、学校等からの今シーズン初めての集団かぜの発生報告が、中区の幼稚園からありました。過去4シーズンと比べて、最も早い報告でした。

(<http://www.city.yokohama.jp/ne/news/press/200810/20081020-025-6247.html>)

その後、1ヶ月以上報告はありませんでしたが、12月5日に都筑区の幼稚園から、12月16日に磯子区の中学校からの報告がありました。

全国状況については、<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/infreport/report.html> をご覧ください。

2 今シーズンの病原体定点等の検体からのインフルエンザウイルス分離・検出状況について

第47週以降の病原体定点と集団かぜの検体からのインフルエンザウイルスの分離・検出数は併せて29件あり、その内訳はAH1亜型(ソ連型)8件(28%)、AH3亜型(香港型)15件(52%)、B型6件(21%)となっています。AH3亜型が半数を占めていますが、他の亜型のウイルスも継続的に分離されていますので、今後の動向に注意する必要があります。

(1) 今シーズンの病原体定点の検体からのインフルエンザウイルス分離・検出状況

月集計および週数	定点数	検体数	インフルエンザ検出状況					
			A型				B型	
			H1(ソ連型)		H3(香港型)		分離	PCR*
			分離	PCR*	分離	PCR*		
2008年第47週	3	9	-	-	-	1	-	-
第48週	3	9	-	-	-	1	-	-
第49週	4	10	-	-	-	-	-	-
第50週	6	19	5	-	3	-	2	-
第51週	6	17	-	-	1	9	-	-

*:ウイルス分離はされていませんが、遺伝子検査で検出されたものを計上します。

(2) 今シーズンの学校等における集団かぜからのウイルス分離・検出状況

検体採取週	区数	施設数	検体数	インフルエンザウイルス検出数					
				分離			遺伝子		
				AH1	AH3	B	AH1	AH3	B
第50週(12/8~12/14)	1	1幼稚園	3				3		
第51週(12/15~12/21)	1	1中学校	5			4			

国立感染症研究所の病原微生物検出情報によれば、2008年12月24日現在、全国の地方衛生研究所のインフルエンザウイルス分離・検出状況は、A(H1)型 87例、A(H3)型 137例、B型 70例です。

詳しくは、<https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data1j.pdf> をご覧ください。

3 インフルエンザの予防について

あ、その咳、そのくしゃみ ~咳エチケットしていますか~

「咳エチケット」とは？

咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。

マスクを持っていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を覆い、

他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。

鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。

咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

インフルエンザ予防のためにできること

外出時のうがいや手洗いを日常的に行いましょう。

十分に栄養や睡眠をとり、体力や抵抗力を高め、体調管理をしましょう。

ワクチン接種を希望される方は、お近くの医療機関にご相談下さい。

インフルエンザに関する情報

厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/index.html>

国立感染症研究所感染症情報センターホームページ

<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

横浜市衛生研究所ホームページ

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/rinji/>

新型インフルエンザについて

厚生労働省ホームページ「新型インフルエンザ対策関連情報」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/index.html>

横浜市健康福祉局 新型インフルエンザについて

http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hpai/new_hpai.html

横浜市健康福祉局 健康安全課 (TEL:671-2463)

横浜市衛生研究所 感染症・疫学情報課 (TEL:754-9816)

検査研究課ウイルス担当 (TEL:754-9804)